

おはなしりぼん



市民ユニットりぼん

八王子市横川町 1166-2 メゾンさつきの 101 号

発行責任者 内田 富美子

URL <http://shiminunit-ribon.com/>

「農福連携」：株式会社グッドホームの取り組み

このたび、八王子の川口町を中心に、障害者居宅介護、介護保険事業等を展開する「株式会社 グッドホーム」取材させていただきました。取材のきっかけは、ある夏の日、グッドホームでホームヘルパーとして働いている K さんから、「夏休みに入るから野菜が余ってしまって…」と、美味しい人参のおすそ分けを頂いたことです。ヘルパー事業所と野菜？ どういうつながり？ と素朴な疑問を抱いた筆者が調べていくと、「農福連携」という取り組みがあることを知りました。



「農福連携」とは、後継者不足や高齢化により農業を営めなくなった農家と、なかなか就労の機会を得られない障害者が連携し農業に取り組むことにより、相互の課題を解決し、地域で共生していく、という農林水産省や厚生労働省が啓発している取り組みです。



これに八王子でいち早く取り組んだのが、株式会社グッドホームです。今回、一般企業から転身し、障害者福祉に取り組んできた社長の登坂信美さんにお話を伺う事ができました。登坂さんは、八王子の川口町に生まれ育ち、これからも川口町を中心とした八王子の北西部を拠点として生活していきたいと考えているそう

です。「農福連携」を選択した理由は、八王子の中でも農業が活発な川口町の特性を生かせること、そして、農業には「障害者それぞれの能力を発揮できる工程がいくつもあること」「『食』という人間には不可欠で持続可能な分野であること」「衰退産業に貢献できること」を挙げられました。早い時期から畑探しに着手し、多くの審査を経て農業者として認められた後、2016年には、障害者就労継

続支援 B 型事業所を立ち上げ、いよいよ本格的に「農福連携」に取り組みました。農作業に取り組むアグリ部門、野菜を加工したり、自社で経営する農カフェ“ふぁむ”に従事するフード部門、PC 部門で業務に取り組んでいます。それぞれの部門が協力し合い、仕事としてがんばった結果、東京都の平均以上の工賃を得られるまでになり、従事している方々のやりがいとなっています。

始めた頃は、萎れた野菜を出荷しクレームになったり、早朝の収穫に人手が足りなかったりと困難が続きました。しかし、日を追うごとに逞しく作業に取り組む姿や野菜を買ってくれるお客様と嬉しそうに交流する姿を見るにつけ、メンバーの自信とプライドを感じられるようになったとのこと。同時に、「安心・安全」を優先するあまり、時として障がい者の自立を妨げかねない支援も多くみられる現状も懸念していると話されていました。

お話を伺う中で、「農福連携」は、登坂さんにとって、農業・福祉の課題解決はもとより、地域に根差し、自分らしい生活を送りたいと願うごく自然な取り組みの結果でもある、と感じました。スタッフ不足や大量供給などの課題はあるようですが、粘り



強く克服されるのだらうと思います。
益々のご活躍を期待しております。



“ふぁむ”でのランチやケーキに魅了され、リピーターになりそうです。

※就労継続支援 B 型：通常の事業所に雇用されることが困難な就労経験のある障害のある方に対し、生産活動などの機会の提供、知識および能力の向上のために必要な訓練などを行うサービス

出典：wam-net ホームページより抜粋



◆◆◆ ひだまりトピックス ◆◆◆

デイサービス“ひだまりの家”には、毎年、教員免許取得の為の介護体験の大学生や職場体験の中学生がきます。平成 30 年度は大学生 6 人、中学生 13 人が体験に来ました。体験日数は大学生が 5 日間、中学生は 1～3 日間、体験が終わると後日、感想の手紙が届きます。その手紙を拝見すると私たちスタッフも改めて日々を見直し、背筋が伸びる思いが沢山あります。そのお手紙の中のいくつかを学校、個人の承諾を頂いて紹介させていただきます。

研修報告

2018年12月28日の法人部門共通研修は“介護者のための腰痛予防体操”でした。講師に上村ひろみさんを迎え、ソフトボールやセルバンドを使っての運動を行いました。運動中、常に呼吸を意識すること、頭のとっぺんから足の先までをイメージして肺を膨らませての深呼吸が難しかったです。

後日、呼吸の大切さについて上村さんからコメントをいただきました。

上村ひろみさんは・・・

介護福祉士による運動改善プログラムの体操を健康維持と機能回復を目的に職場や地域のサロンで定期的に行っています。一人一人に合わせて、動いて無理することのないよう心がけているそうです。

“深い呼吸で楽しく美しく生きよう”

ゆったりとして深い呼吸により胸は開き心も開放する。

酸素は深く広く全身を緩めパワーハウス・ミトコンドリアを活性化させてくれるのです。

肩や胸の一部だけで呼吸をしますと肺の中には常に淀んだ空気が残ってしまいます。

荘子は「真人の息は踵を以って、衆人の息は喉を以ってす」と書き表しています。

骨盤を立てて背筋を伸ばし腹筋や背筋を使い深い呼吸をする。肩の力を抜いたら息を足の先から吸い上げるイメージをして徐々に吸い上げ息をスーッと長く細く吐くそして歩いたりポーズをとったりすることは大きな病気を防ぐことにもつながります。

一年後の自分自身の変化を感じるため自分と向き合う時間を大切にしてください。

<2019年2月実績>

	人数	時間
ACT・独自	8	34.25
訪問介護	17	197.75
総合	7	49.75
障害福祉	29	206.00
通所介護	16	
通所予防	4	
居宅介護	75	
居宅予防	26	

働く仲間を募集中です

ケアマネ・
訪問ヘルパー・通所運転手、介護員

あなたの経験をいかして、
私たちのまち 八王子と一緒に
働きませんか
ご興味のある方は事務所までご連絡ください。

TEL:042-621-4781

メール：ribo3@arion.ocn.ne.jp

利用者の方との関わりの中で特に印象に残っているのは、(利用者) Aさんと(利用者) Bさんとの会話です。私は初めてホワイトボードを使って筆談したり、Bさんの掌にBさんの指で文字を書くことを学びました。この経験は将来とても役に立つことだと思いました。私は今回の職場体験で介護福祉士になりたいという気持ちがより一層強くなりました。

都立南多摩中学校 2年、Iさん

私はおじいちゃん、おばあちゃんと住んでいます。おじいちゃんは前にがんになっていた時期がありました。心配する時もありましたがイライラする時もありました。でも仕事の大切さや人を思う心がひだまりの家の皆さんに会って、改めてわかりました。

八王子市立第4中1年、Sさん

今回の職場体験で笑顔の大切さ、感謝することの大切さを学ぶことができました。私はおじいちゃんとおばあちゃんと一緒に住んでいるのでこれからみんなでゲームをやるなどしてもっとみんなでたくさん笑いあえる時間を増やしていこうと思います。

八王子市立第4中1年、Fさん

元気に見えても目や耳が不自由な人がいると知り、自転車に乗る時などはゆっくり通ったりベルを鳴らすなどを行うようにしたいと思います。

市立第4中学校2年、K君

今回の体験で、人前でしっかり話すことや、分からないことを人に聞くことの大切さを学びました。

市立第4中学校2年、T君

実習を通して、声かけのタイミングと笑顔で接することの重要性を感じました。利用者さんは日によって、又は時間によって心の状態がコロコロ変わります。同じ言葉でも言うタイミングによって相手の感じ方が変わるので気を付けた言動が必要だなと、感じました。また、笑顔は世界共通の言語とよく耳にすることがありますが、実習中それをすごく感じました。

最終日の八木節披露会では、皆さんとても喜んで頂いてその笑顔に逆にこちらが元気を頂きました。お別れの時は、利用者の皆さんから歌のプレゼントや一言メッセージがあり、視聴覚障害の方から『踊りの迫力が伝わってきたよ。素晴らしかった。本当にありがとう』という言葉で涙ぐみながら言われた時は、気持ちがとても動かされました。

映像や音がなくても気持ちは伝わるんだ。と、ハッと気づかされた出来事でした。

明星大学通信教育課程、E君

